

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和4年6月9日(木) 開会；18時30分・閉会：19時30分	
開催場所	行田市産業文化会館管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、瀧上通子、吉岡隆秀、村上万里子、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、千島万里江、江袋文紀、大山恵巳、	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	1. 前回のまとめ 2. 「わたしの人生ファイル」普及と活用について 3. MCSの普及と活用について	
会議資料	(資料名・概要等) ICT/患者情報共有部会資料	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和4年 7月 14日	藤井尚子	
	上村勇樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 18：30</p> <p>1. 前回のまとめ</p> <p>(1)患者情報共有ツール「わたしの人生ファイル」の普及と活用について</p> <p>2. ふらっと（研修）部会開催の研修にむけて～専門職が使いたくなる活用方法について～</p> <p>研修の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ、サービス事業所 地区公民館で行った内容の研修の実施 再度の宣伝の必要性 医師や看護に後半部分の研修 管理者向けの研修</li> <li>・市民向けについて 市民は講座をするとほしい人が多い。 専門職が自ら記入するのは、業務の忙しさから困難があるため、市民へ向けて広めることも必要。</li> <li>・DVDを活用することについて 説明については、DVDの視聴で可能。</li> </ul> <p>研修の実施方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業部会のメンバーが出前講座式に各事業所に出向いて、実施する方法もある。</li> <li>・DVDを広める方法もある。</li> <li>・公民館のACP講座にケアマネ、事業所職員が参加する方法もある</li> <li>・次年度から事業所ごとにACP研修を実施することも検討</li> </ul>

### 3. MCSの普及と活用

忙しいときこそMCSが便利である。

MCSはコミュニケーションツールである。電話で連絡はとれ、コミュニケーションが十分とれていれば、MCSは活用する必要がない。MCSの普及を積極的に行うことにも疑問がある。

### 4. その他

会議の前に資料がほしい。

人生ファイルと行田人は似ている。ただ、配るのに置いてあるのでは効果がない。

人生ファイルも必要なもの、不要なものを選択するなど使い方が必要と思われる。

【閉会】 19 : 30

